

産学官連携ワークショップ

■ 株式会社 免疫生物研究所からの報告

開発・企画部 木下 憲明

IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

当社について

株式会社 免疫生物研究所
所在地 群馬県藤岡市
創業 1982年9月
資本金 269,600千円
従業員数 64人
売上高 1,001,684千円

主製品
抗体・キット・免疫組織化学
的関連試薬・組織細胞化学
用試薬・各種サイトカイン・ト
ランスジェニック動物・受託
研究および受託サービス



■ コア技術－抗体作成技術

- 約20年のノウハウ蓄積により他社と差別化できる抗体作成が可能
 - 1アミノ酸の違いを認識する
 - 切断された部分にのみ認識する
 - 3次元構造のみを認識する

■ 当社のめざす事業・方向性

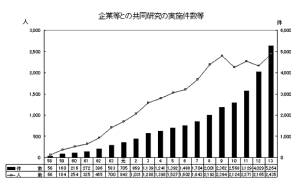
- 創薬事業－抗体医薬
- 遺伝子改変マウス事業
- IPO (新規株式公開)

IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

連携の形

- 基本は、互いの利益を尊重し合うWin-Win理論
- 共同研究の場合、成果、技術力を補い合うことで対等の立場を取る。
- 受託研究の場合、成果は相手のもの、しかし技術力は蓄積され将来の力となる。

平成13年度統計
共同研究推移
文部科学省のHPより



IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

連携がうまくいくには

- 目的意識の同一ベクトル化
- 計画性
- 互いの連絡・協力ー研究役割分担・地理・地域性
- 情報収集と分析・解析・共有化
- 連続性ー的確な議論と方向修正ーPDC Aサイクル
- 共同研究成果の共有化

IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

連携のきっかけ

- お互いの技術力の確認から
 - 論文・発表・先見性・創造性など
- 人脈・ネットワークのロコミ
- Natureの解明をめざす情熱と意欲
- 社会還元への高い意識
- 興味深いと思うかどうか
- 結局はヒトとヒト、心の通じ度合い

 IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

なぜ大学との連携なのか

- 基礎研究基盤の強み
- ネットワーク組織が強固
- 入手困難な材料が比較的入手容易
- 潜在情報の強み
- 大学運営が変わりつつあるが、今後の独法化でどう変化していくか。

 IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

学に求めること→シーズ

- 基礎技術力
- ネットワーク
- 先端科学情報

- 創造性
- 先見性

- Science, Nature

IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

学が求めること→ニーズ

- 販売力

- 創造性
- 先見性

- 研究費
- 人カ-研究員
- 技術力(不足部分の補完)
- ネームブランド

IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

既存制度・組織でのネック

- 研究費助成制度
 - 特定の研究者に偏りすぎていないか
 - 助成金の使用目的に限りがある
 - 報告書類整備の煩雑さ
- 企業化・経営学の教育
 - Scienceか、商売か
- コーディネート人材
 - マッチングファンドの機会が増える
- 政治広報活動は充分か

IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

アルツハイマー病研究開発で、アミノ酸1つの違いを認識できる、また蛋白の断端のみを特異的に認識する抗体ができた。

↓

遺伝子強制発現蛋白では確かに特異的

↓

生体材料ではどうか

↓

試料探しに大学と話し合い

↓

測定するとまちがいない

↓

製品化

↓

診断薬として社会貢献

事例1 - Amyloid β ApoE4


- きっかけは、弊社の研究成果
- 測定試料が必要であった。
 - 大学のネットワークをお願いし、臨床検体の収集が可能となりブレークスルー
- 測定系の構築
- 製品化をめざす。

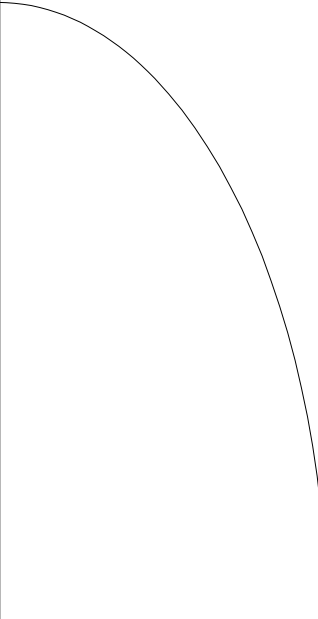
IBL Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

A大学 A先生
↓
熱意を持って語る
↓
とにかく作ってみましょう。
↓
関節炎のKey蛋白
↓
測定できるようにしよう
↓
製品化
↓
多くの先生に使用してもらおう
↓
抗体で治療できるのではないか
↓
医薬品会社へのライセンス
↓
治療薬で社会貢献

事例2 - Osteopontin


- 代理店からある先生を紹介
- 最初はよくわからない蛋白
- 一つの記事で化けた！
- 製品化
- 研究会の発足
- さらに機能がはっきりした！
- 治療に結びつけるヒト化抗体
- 抗体医薬へライセンス

 Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.



今後の産学官連携(1)

- 道徳的原理
- 世の中の変動は「科学」の分野に広がっているが、この時代には、「成功本位」ではなく、「誠実本位」である
- 「成功本位」と「誠実本位」の違いを「日本の将来の命運」をかけて静思する時
- 「真の国際人」となるために、静思から得られた結論を互いに語れる連携が必要

 Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd.

今後の産学官連携(2)

■ 商売成功の秘訣十ヶ条に学ぶ

1. 自己に頼るべし。他人にたよるべからず
2. 本を固くすべし。さらば事業は自ずから発展すべし
3. 急ぐべからず。自動車のごときも、なるべく徐行すべし。
4. 成功本位の米国主義にならうべからず。誠実本位の日本主義に則るべし。
5. 濫費は罪悪なりと知るべし。
6. よく天の命に聞いておこのうべし。みずからおのが運命を作らんと欲すべからず。
7. 雇い人は兄弟と思うべし。客人は家族として扱うべし。
8. 誠実によりて得たる信用は最大の財産なりと知るべし。
9. 清潔、整頓、堅実を主とすべし。
10. 人もし、全世界を得るとも、その靈魂を失わば、何の益あらんや。人生の目的は金銭を得るにあらず。品性を完成するにあり。